一般社団法人日本機械学会 第 18 回標準事業表彰 選考結果

		貢		献		賞
	受賞候補者名 業績名					推薦理由
1	酒井 信介 横浜国立大学 先端科学高等研究 院 リスク共生社会創 造センター 客員教授	発電用原子力設備規格全般の策定、整備及び普及に関する貢献				発電用設備規格及び構造健全性に関わる規格、特に信頼性工学、荷重耐力係数設計法に関して、研究分科会立ち上げから規格策定迄主導的役割を果たした。政府の規格関連委員会の主査、或いは日本機械学会企画理事として、規格基準分野を指導した。
		国	際	功	績	賞
	受賞候補者名		業績名			推薦理由
1	田淵 正明 国立研究開発法人 物質·材料研究機構 構造材料研究拠点 上席研究員	高温破壊試験法の標準化				ISO 及び VAMAS (Versailles Project on Advanced Materials and Standards) における「高温破壊試験法」に関する国際基準策定・改定の経験を豊富に有し、2011 年より VAMAS TWA 31 の国際副議長、2018 年より ISO TC 164 の国際議長と、当該分野の普及を目指す権威的ポジションに就かれている。 これら経験を活かし、国内でも、日本材料学会、日本高圧力技術協会などの委員に就かれ、現在当学会では「発電用設備規格委員会火力専門委員会」の委員として、基準策定・改定に係わる取組みを精力的に進められている。
コードエンジニア賞						
	受賞候補者名		業績名			推薦理由
1	鬼澤 高志 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構高速炉・新型炉研究開発部門高速炉サイクル研究開発センター高速炉解析評価技術開発部ナレッジ統合 Gr 研究主幹				見格	安全性、経済性に優れる高速炉の実現に不可欠の新材料の採用と60年設計を得した計算を発展とで、自ら取得した計算を基準につい、長時間特性の予し、長時間発生の評価を行い、長時間発生の手機を開発を高速炉規格の改定提案を主査とのでは、高速炉規格の改定提案を表される。 世に優れるクリープ特性式を開発を表生を、ののでは、高温規格の科会材料基準作業会主査として、高温規格の作成から審議対格のなど、表でを表して、表で、大力を表した。また、候補者が中心となって、また、候補者が中心となって、大力をは、大きく貢献した。なら、は、大きく貢献といる。以上のように、大きく貢献といる。以上のように、発電用といる。以上のように、発電用といる。以上のように、発電用といる。以上のように、発電用といる。以上のように、発電用としている。以上のように、発電用といる。対料に関する規格の高度化に大きく貢献した。